

耐火物誌用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は和文又は英文。
- 2) 用紙：A4判白紙に上下30mm、左右20mmの余白を設けこの枠内に記し、1ページに収める。
- 3) 体裁：次ページの年次学術講演会概要原稿作成要領に従うこと。特に字体はそれぞれ指定されたものにすること。（英数字は半角、カタカナは全角を使用する。）
- 4) 表現：
 - ① 原稿は目的、研究手法、成果、結論等が理解しやすい簡潔な表現とすること。題名は具体的かつ内容を的確に表すこと。
 - ② 商品名、一般的でない略号等は原則として用いない。
- 5) 図表はすべて英文とする。（図表中の説明も英文とする。ただし本文中では**図1、表2**…と和文表記し、**ゴシック太字**とする。）
- 6) SI単位を使用。（例：MPa, kg·h⁻¹, m·s⁻¹, g·cm⁻³, W·m⁻¹·K⁻¹, mass%）
- 7) 顕微鏡写真のスケールは必ず写真内にいれる。（写真は、図として扱う。）
- 8) 提出：作成した原稿は、メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
- 9) 査読：応募原稿はプログラム委員会において、題目・形式・印刷効果等を中心とした査読を行い修正を依頼することがある。
- 10) 発表講演は、後日耐火物誌への論文又は技術報告としての投稿を依頼する。
- 11) 版権：耐火物技術協会に属する。

TAIKABUTSU OVERSEAS 用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は英文。（協会での翻訳希望者は耐火物誌用原稿のコピー左肩に翻訳依頼と朱書し、余白に特殊用語のみ英語を朱書して提出する。）
- 2) 用紙・体裁：講演題目、著者及び本文はA4判用紙に大きめの活字でベタ打ち、図表は耐火物誌用と同じものを別紙にて、電子データ（メール添付）で提出する。（レイアウトは協会で行う。）
- 3) 校正：内容については触れないが、英文としての校正をすることがある。
- 4) 掲載辞退：都合により掲載を辞退するときは、耐火物誌用原稿のコピー右肩に掲載辞退と朱書して提出する。（辞退しても発表記録として題目と発表者名は掲載される。）

別表：講演発表分類表（2項目以上選択のこと）

分類	分野・内容	分類	分野・内容
1	基礎・評価・分析技術	7	鋳造(非鉄含む)
2	原料	8	ガラス・セメントその他工業炉
3	耐火物製造技術	9	焼却炉・廃棄物溶融炉
4	設計・施工・補修及び機器	10	定形耐火物
5	製銑	11	不定形耐火物
6	精鍊(非鉄含む)	12	その他